

質問回答書

令和8年1月15日

履行名称 太田利根浄水場次亜注入装置ほか設置工事

No.	図面番号	仕様書等(頁)	質問内容	回答
1	No. 2		図面 No.2 の次亜注入機現場盤について、既設 ELB3 から配線とあります。このことから今回は動力ケーブルのみ接続するとの認識ですがよいでしょうか?	ご認識のとおりです。
2	No. 2		上記ケーブルやその他のケーブルは敷設・配線の必要ございますか? 現状ケーブルはエアコンの一次側のみが数量上計上されていると考えております。 また、記載から次亜注入装置への電源送りをご指示と想定しますが、他の配線がある場合はそれぞれ電気配線の信号名称と線種をご教授ください。 (例: 電源、運転信号、注入率、注入量、故障等)	敷設の必要があるケーブルについては、協議により数量の追加・変更を行います。
3	No. 2		次亜注入ユニットについて、配線ご指示から判断した場合は、今回ユニット内ポンプの運転停止のみをユニットでの手動操作で行うとなりますか?	既設の次亜注入機現場盤(廃止予定の後塩注入ポンプのスイッチ)で運転・停止操作する予定です。またユニットでの停止操作も可能と想定しています。
4	No. 2		図面 No.2 の次亜注入機現場盤について、既設 ELB3 から配線とあります。既設 ELB とその上	ご認識のとおりですが、次亜注入機現場盤の状況によっては、必要に応じて盤内を停電して作業する可能性もあります。

			位しや断器を遮断して施工ができる認識でよいでしょうか？	
5	No. 2		図面 No.2 の注入ユニットについて、A のプルボックスとの間に防液堤があるため、コア抜きせず配線する認識でよいでしょうか？	ご認識のとおりです。
6	No. 2		図面 No.2 について④の既設次亜注入現場盤から次亜注入ユニットへの配線について、床上配線のご指示となっております。 盤内へは現場盤側面を開口加工し配線を通すことをお考えですか？	必要に応じて加工も検討しています。
7	No. 2		図面 No.2 の次亜貯留タンク周辺と倉庫付近に赤色点線箇所がございます。 数量・図面等での明示はありませんが、施工対象外という認識でよろしいでしょうか？	ご認識のとおりです。
8	No. 2		次亜注入ユニットの1次側の流入管と2次側の流出管の接続がありません。運用の切替や仮設については考慮しないという認識でよろしいでしょうか？	別工事で布設予定の配管に接続します。布設された配管の弁により切替を行います。仮設についてはご認識のとおり考慮しない工事となっています。
9	No. 3		図面 No.3 の予備 2 について 3 相 200V の既存ブレーカを使用することでおよいでしょうか？ また可能であればブレーカ・ケーブルの容量について是非判断のご提示を希望します。	ご認識のとおり既設のブレーカを使用します。容量の是非判断については契約者と協議のうえ提示します。

10			<p>設計書 No.8 に試運転調整費とあります。 図面にて流入管と流出管は別途工事との旨伺いました。試運転調整は運転開始をせず、電源投入して手動にてポンプの動作確認を行う形でよろしいでしょうか？</p>	別工事で布設された配管に接続し実運用による試運転を行います。
11			<p>設計書No.10の複合工費について鋼材加工品：架台とあります。 図面 No.2 の配管カバーの認識でよろしいですか？</p>	「架台 編鋼板 3.2mm 29.5kg」がカバーです。
12			<p>設計書No.10の複合工費について鋼材加工品：架台とあります。 80.6kg の SUS304 製の架台は次亜注入ユニットの下に取り付ける架台の認識でよろしいでしょうか？</p>	ご認識のとおりです。
13			<p>工期は5か月弱のご設定です。対し、特記仕様書、次亜注入装置についてご指定業者からの納期は、現時点で工期よりも長い納期回答を得ております。工期は打合せ期間・施工期間の分延長される、との認識でよいでしょうか？</p>	ご認識と相違します。入札条件のとおりの工期です。着工後、諸条件により工期延長の必要があれば協議は可能です。
14			<p>注入制御がある場合は、今回の注入制御方法をご教授ください。 (例：運転指令+注入率+取水流量による比例注入、運転指令+注入量による比例注入) また、この場合はそれぞれ信号の取り口をご教示ください。</p>	注入制御や注入設備から発信される信号については、本工事に関係しませんので回答は控えさせていただきます。

15		<p>新設のポンプは、既設ポンプと能力が異なるポンプと想定していますが、注入量等のスケールは同じとの考えで宜しいでしょうか？</p> <p>注入制御がある場合は、中央と注入装置の注入量スケールが異なると正確な注入が出来ないと考えます。</p>	<p>注入制御は、設置する注入設備で行いますので、中央でのスケール変更はありません。</p>
16		<p>設計書No.10にアスベスト撤去1式の項がございます。</p> <p>具体的な内容と必要なコストを把握したいため、決定している撤去対象物と物量をご提示ください。</p>	<p>対象は、空調機室外機設置時に管理棟1階の壁を穿孔した際に発生するコンクリートです。</p>